

～お知らせします～

役場新庁舎建設の 将来像と **基本的な** 考え方

益城町新庁舎建設

基本構想・基本計画を

策定しました

熊本地震により大きな被害を受け、建て替えが必要となった役場庁舎（以下、「庁舎」といいます）。現在では、新庁舎の建設に向けて、解体を進めている状況です（7月末完了予定）。

町では、「新庁舎建設検討委員会」を設置し、熊本地震以前からの庁舎の問題点と震災による教訓を基に、新庁舎の機能などについて、合計7回の会議を重ねるなど、平成34年度からの新庁舎での業務開始を目指し準備を進めています。その間実施した「新庁舎建設に関する町民アンケート」や「パブリックコメント」などでいただいた皆さんからのご意見も踏まえ、この度、「益城町新庁舎建設基本構想・基本計画」を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

基本構想・基本計画策定の目的

庁舎については、被災後、機能の分散などにより町民サービスが低下していることなどから、速やかに機能の集中を図り、災害に強く、充実した町民サービスを提供できるよう新たな庁舎建設を計画する必要があります。

「益城町新庁舎建設基本構想・基本計画」は、本町が目指す庁舎像を明らかにし、新庁舎建設の基本的な考え方を示すために策定したものです。

【新庁舎建設における5つの基本理念】



【新庁舎の目指す姿】

復興のシンボルとして、災害に強く、町民に永く親しまれる、安全・安心の拠点

新庁舎建設の基本理念

新庁舎は震災からの復興をけん引するシンボルとなり、防災や情報の拠点としての機能などを備え、まちづくりの拠点となるものです。町民にとって親しみやすく、利用しやすい、安全な庁舎とします。